



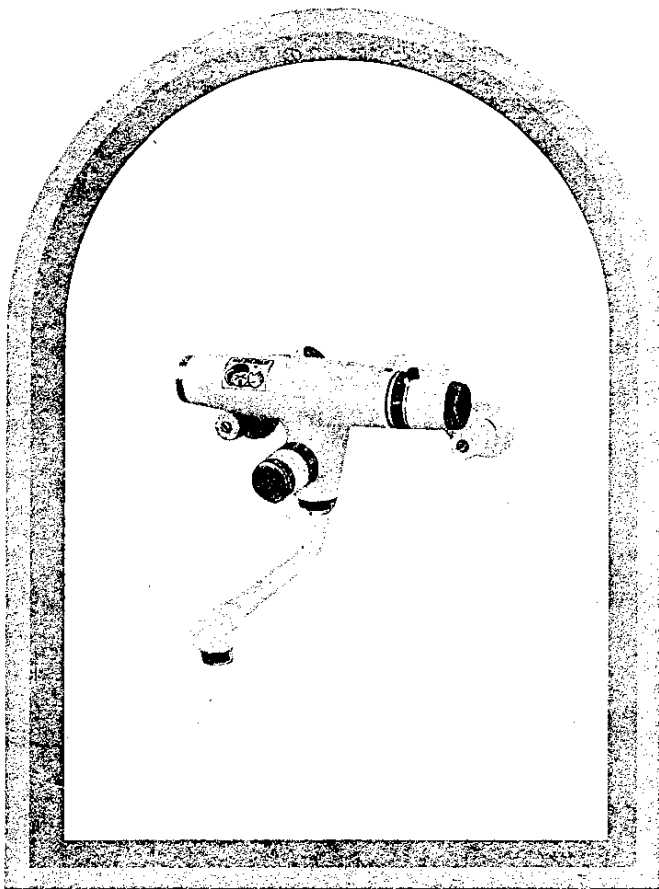
大阪ガス住宅設備

混合水栓

取扱説明書

38-434・436型

保証書付



- ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガス住宅設備の混合水栓を

お求めいただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を

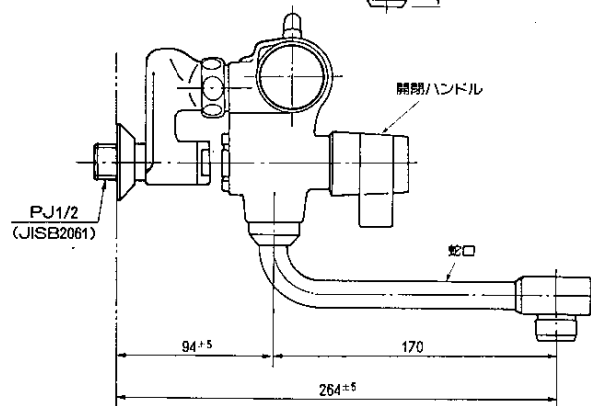
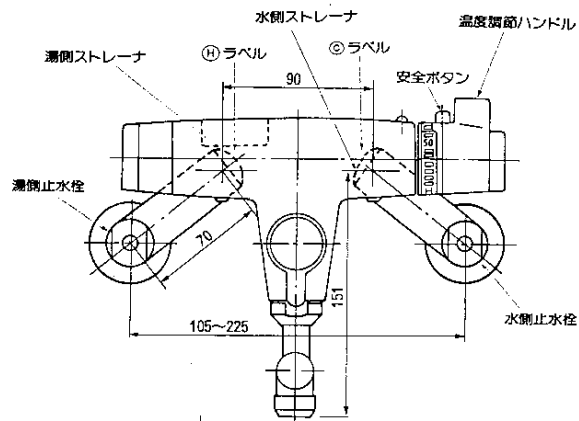
大切に保存してください。

もくじ

- 取付寸法図(各部の名称)..... 2
- 特長..... 3
- 使用手順..... 4
- 使用時のご注意..... 5
- 温度調節の方法..... 7
- 日常のお手入れ..... 8
- アフターサービスのお申し込み..... 10

取付寸法図<各部の名称>

単位mm



PJ1/2
(JISB2061)

特 長

- 1 温度調整が容易です。**

イ) 混合水の温度をほぼ一定に自動調整します。
ロ) 温度調節ハンドルの操作ひとつでお望みの温度に変えられます。(最高温度70℃)

ただし自動調整するためには、ご希望の湯温より約10℃以上高い温度のお湯が湯沸器より給湯される事が必要ですので、湯沸器の温度設定などに注意してください。(詳しくは使用手順の項を参照してください。)
- 2 安全ボタン付です。**

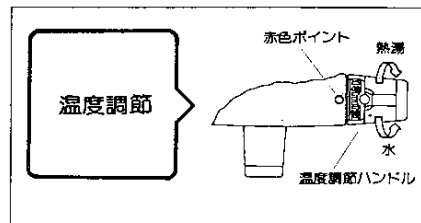
温度調節ハンドルは安全ボタン付ですので、誤まって熱湯を出すことがありません。
- 3 ストレーナ付です。**

配管中の砂やごみが機能部に入らないようストレーナを設けています。
- 4 止水栓付です。**

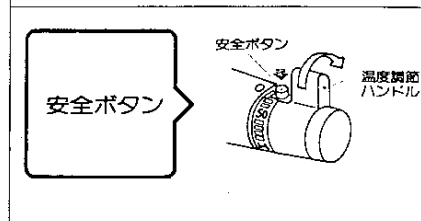
圧力調整や内部の分解・清掃に便利な止水栓を設けています。

使用手順

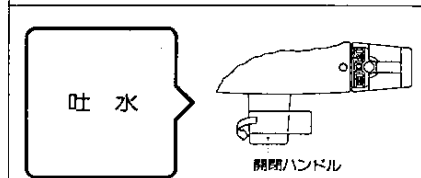
- 温度調節ハンドル
温度の調節をするハンドルです。なお、このハンドルでは、湯水をとめることはできません。



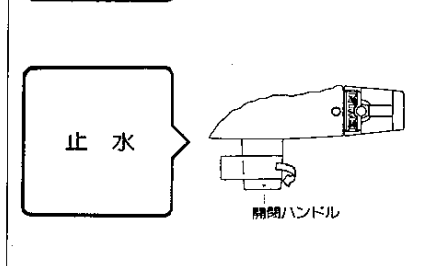
温度調節ハンドルを回してお好みの湯温を赤色ポイントに合わせてください。ダイヤルの数字は湯温を示す目安としてください。



誤まって熱湯を出さないように安全ボタンが付いています。温度調節ハンドルは目盛°40°付近でロックされますのでこれより高温で吐水したいときは、安全ボタンを押して回してください。なお、安全ボタンを押して使用したときは、ハンドルを必ず目盛°40°以下に戻しておいてください。



開閉ハンドルを左へ回すと吐水します。



お湯を止めたいときは開閉ハンドルを右へ一杯に回してください。

使用手順②

●瞬間式湯沸器をご使用の場合

イ) 電子コントロール方式の湯沸器の場合

コントローラーの湯温調節つまみは(4)の位置でご使用ください。

冬季(特に水温の低い時期)給湯器の能力によっては、風呂への高温さし湯等ができない事があります。湯止止水栓は、夏季・中間季は全開で使用してください。

ロ) 電子コントロール方式以外の場合

湯沸器の温度調節ハンドル(つまみ)を(高)の位置にし、能力調節ハンドルを季節にあわせた位置にして、ご使用ください。湯止止水栓は全開にて使用してください。

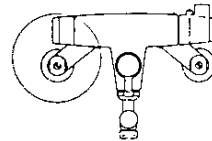
(貯湯式湯沸器をご使用の場合、湯止止水栓は全開でお使いください。)

使用時のご注意

- 使用開始当初には、給湯配管内の残留水の影響により高温の湯や冷水が出る場合がありますのでご注意ください。
- 温度調節ハンドルをC側に回しすぎると、湯沸器の火が消えることがありますのでご注意ください。
(湯沸器の火が消えるような時は、湯沸器の能力調節でガス量を小さくしてください。)

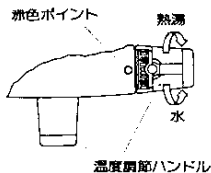
使用時のご注意②

やけど
に注意



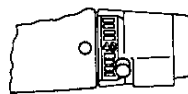
器具の左側は給湯側のため金具の表面に直接ふれないでください。また高温で吐水させた後はしばらく水を出し、高温の残湯を流しておいてください。

温度調節
ハンドルは
ゆっくりと



温度調節ハンドルを急に回すと温度が上がり過ぎたり下がり過ぎることがあります。

温度調節
ハンドルは
"40"以下に



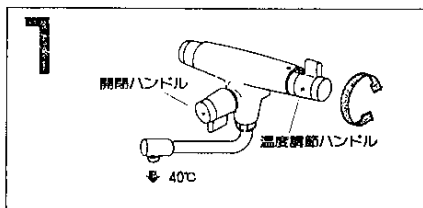
熱湯(40℃以上)を使用した後、次に使用するときいきなり熱湯を浴びないため、必ず温度調節ハンドルを"40"以下に戻しておいてください。

温度調節の方法

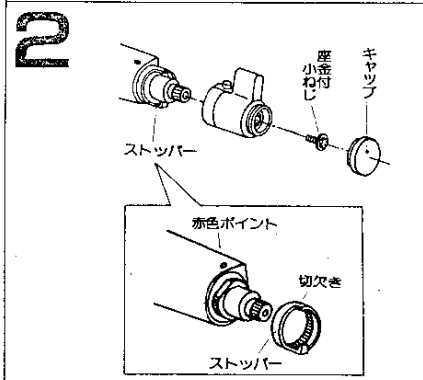
- ダイヤルどおりのお湯が出ない場合は、次の要領で温度調節をしてください。

調節する前に

- 止水栓が全開しているか確かめてください。
- ストレーナのごみづまりはないか確かめてください。
- 十分な温度(使用する温度より10℃以上)のお湯がきているか確かめてください。



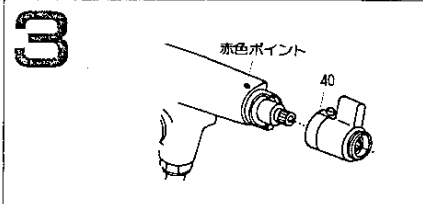
開閉ハンドルを開き、温度調節ハンドルのダイヤルに関係なく40℃のお湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回してください。



温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ、小ねじをはずして温度調節ハンドルを抜きとってください。

■注意

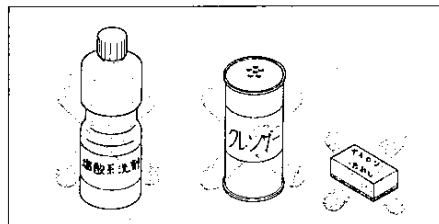
温度調節ハンドルを抜くとき、ストッパーがはずれたら赤色ポイントに切欠きを合わせてはめてください。



ダイヤルの“40”の文字と赤色ポイントを合わせて温度調節ハンドルをはめ、小ねじで固定しキャップをはめてください。

日常のお手入れ

いつまでも美しさを保つために柔らかい布でみがき、めつきされたところはときどきミシン油やカーワックスなどをしませた布でみがいてください。ただし樹脂部(ハンドルなど)に付着すると光沢を失いますので、付着しないよう十分注意してください。



クレンザー・みがき粉などや粗い粒子を含む洗剤およびナイロンたわしなどはめつき面を傷つけますので使用しないでください。また、酸性洗剤はめつきを侵しますので使用しないでください。まちがって使用したときはすぐに水洗いしてください。

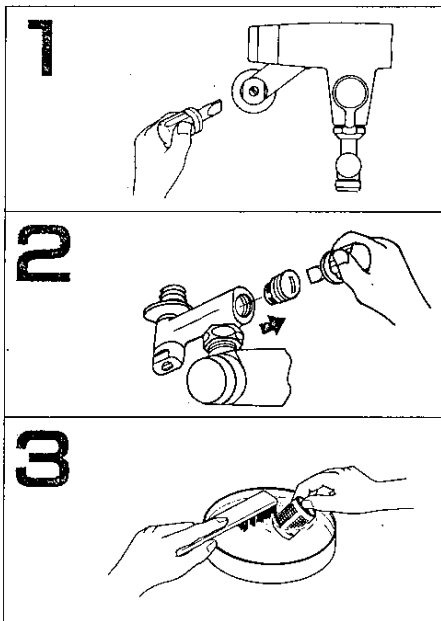
※カラー水栓の場合

カラー水栓の美しさをいつまでも保つために次のようにお手入れしてください。

1. 普段は乾いた柔らかい布でふいてください。
汚れがひどいときは適量にうすめた中性洗剤でふいたあと水ぶきし最後にからぶきしてください。
2. めつき部分はときどきミシン油やカーワックスでふくといつまでも美しい輝きを失いません。ただしめつき部分以外に付着すると光沢を失うことがありますので付着しないよう十分注意してください。
3. クレンザー、みがき粉など粗い粒子を含む洗剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤、シンナー、ベンジン及びナイロンたわしなどは器具の表面を傷つけたり、侵したりしますので使用しないでください。

日常のお手入れ②

- 十分な機能を発揮させるため、次の要領で時々ストレーナを掃除してください。



ドライバーで湯側・水側の止水栓を開けてください。

ドライバーを溝に差しこみストレーナをゆるめて取出してください。

ストレーナの網目につまったごみをブラシなどで取り除いてください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 故障の修理及びご不明な点がございましたら、お買い上げの店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

修理を依頼される前に

現象	お問い合わせいただくところ
■吐水量が少ない	●止水栓は全開されていますか。 ●ストレーナにごみはたまっていますか。
■高温しか出ない ■低温しか出ない	●止水栓は全開されていますか。 ●ストレーナにごみはたまっていますか。 ●温度調節は適当ですか。
■ダイヤルどおりのお湯が出ない	●止水栓は全開されていますか。 ●ストレーナにごみはたまっていますか。 ●温度調節は適当ですか。

- 点検方法は「ストレーナの掃除」、「温度調節の方法」の項を参照ください。

保証書について

- この器具には保証書がついています。
この混合水栓は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。
詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。